

サーズ  
「SARSコロナウイルス抗原キット「イムノエース®SARS-CoV-2

サーズシーオーヴィ  
「SARS-CoV-2 Saliva」の有用性に関する研究」

へご協力をお願い

研究機関名 札幌医科大学附属病院

研究機関長 土橋 和文

研究責任者 札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座 教授 高橋 聡

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の目的

COVID-19（コビットジュウキュウ）患者は、2019年12月に中国の武漢市で発生し、世界中へと感染が広がっています。現在、新型コロナウイルス感染症の検査は、ポリメラーゼ連鎖反応（PCR）を原理とする遺伝子検査の他に抗原定量検査が用いられています。PCR検査は極めて高感度な検査である一方、検査行程が複雑で、熟練した技術を必要とします。抗原定量検査においても大型の専用機器を必要とするため、検査可能な施設は限られています。その他の検査法として、イムノクロマトグラフィーを原理としたSARS-CoV-2（サーズシーオーヴィツー）抗原定性検査キットが数多く開発されており、今回、新たに、測定時間が20分と短く、唾液を適用検体種とするSARS（サーズ）コロナウイルス抗原キット「イムノエース®SARS-CoV-2 Saliva（サーズコロナシーオーヴィツー サライヴァ）」が開発されました。そこで、当院においてSARS-CoV-2遺伝子検査およびSARS-CoV-2抗原定量検査を行った患者さんの検体を用いて、SARS コロナウイルス抗原キット「イムノエース®SARS-CoV-2 Saliva」の有用性を検証します。

## 2) 研究の意義・医学上の貢献

この研究で得られた成果は、札幌医科大学附属病院の患者さんに限らず、将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2020年2月1日～2022年12月31日までに当院において SARS-CoV-2 検査をされた患者さんおよび職員、あるいは当院へ行政機関より SARS-CoV-2 検査依頼された患者さんです。

また、当院に入院し、他の研究のために採取された保存検体のうち、該当研究以外の使用についても同意が得られている検体も対象と致します。

### 2) 研究期間

病院長承認後～2023年3月31日

### 3) 予定症例数

100人を予定しています。

### 4) 研究方法

2020年2月1日～2022年12月31日の間に SARS-CoV-2 検査を行った患者さんから得られた検体で、診療後に保存されている検体を用いて、SARS-CoV-2 の検査を行います。

### 5) 使用する試料

この研究に使用する試料として、すでに保存されている唾液を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

## 6) 使用する情報

この研究に使用するのは、大学病院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・生年月日、性別、年齢、その他の検査データおよび電子カルテに記載されている情報

## 7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後、終了報告書を提出した日から5年間、札幌医科大学附属病院検査部内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存した試料・情報を用いて、新たな研究を行う可能性はありません。

## 8) 試料・研究の管理責任者

この研究で使用する試料・情報は、以下の責任者が管理します。

札幌医科大学 医学部 感染制御・臨床検査医学講座 教授 高橋 聡

## 9) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

## 10) 研究に関する問い合わせ

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので2023年2月28日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続きをして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様にも不利益が生じることはありません。ご連絡いただいた時点が上記お問い合わせ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関するデータを取り除くことが出来ないため、その点をご了承ください。

## 11) 利益相反について

研究者が公的資金以外に企業などからの資金提供を受けている場合に、研究が企業の利益のために行われているのではないかと、あるいは研究の結果の公表が公正に行われていないのではないかと(企業に有利な結果しか公表されないのではないかと)などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反(患者さんの利益と研究者や企業などの利益が相反している状態)と呼びます。本研究は、研究責任者が所属する講座の教育研究費を用いて実施し、本研究の実施において、試薬の製造元である株式会社タウンズ、富士レビオ株式会社および株式会社島津製作所を含め、記載すべき利益相反関係にある企業などはありません。

<問い合わせ・連絡先>

研究責任者 札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座 高橋 聡

連絡先 〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

平日の連絡先 (8:45~17:30)

札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座 TEL : 011-611-2111 内線 36390

夜間・休日・時間外の連絡先

札幌医科大学附属病院 検査部 TEL : 011-611-2111 内線 36360

ファックス : 011-615-3646

電子メールアドレス : [stakahas@sapmed.ac.jp](mailto:stakahas@sapmed.ac.jp)